

博物館展示論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 次の①～⑤の()について、下の□□□から最も適切な語句を選び、該当する記号を答え、文章を完成させなさい。(同じ番号の箇所には、同じ語句が入る。)(各2点)

(①)は、(②)世紀における大航海時代の幕開け後、西欧の王侯貴族や学者などが作った陳列室である。そこでは、世界中から入ってくるさまざまな珍しい自然物や人工物が、世界の縮図を形成するかのごとく一堂に集められ、所狭しと並べられた。それは、ドイツ語をもとにしたカタカナで(③)などとも呼ばれる。有名な例としては、17世紀のデンマークの医学者である(④)によるものなどがある。(①)は近代の(⑤)の前身の一つともなった。

- | | | | | |
|---|------------------------|----------|---------------|-----------|
| ① | ア 秘儀荘 | イ 世界地図の間 | ウ 驚異の部屋 | エ 五百人広間 |
| ② | ア 12 | イ 13 | ウ 14 | エ 15 |
| ③ | ア パラッツォ | イ クンストハレ | ウ ピナコテーク | エ ヴンダーカマー |
| ④ | ア パラケルスス | | イ オーレ・ヴォーム | |
| | ウ フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト | | エ ジークムント・フロイト | |
| ⑤ | ア 博物館 | イ 大学 | ウ 百貨店 | エ 画廊 |

2. 次の①～⑤の()に適する用語を記入して、文章を完成させなさい。なお、(④)は3文字の解答とし、同じ用語が文中の□□□に入るものとする。(各2点)

日本での書体には、大きく分けると、和文書体と欧文書体がある。

和文書体には、漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベット、数字、記号が含まれる。基本的な書体のひとつ、(①)体は、文字の装飾要素である「うろこ」が特徴であり、「はね」、「はらい」などが表現されている。書籍や新聞など使用される範囲は広い。もうひとつの基本的な書体である(②)体は、すべての線や点画がほぼ同じ太さになるように設計されているのが特徴であり、サイン表記などに使用例がみられる。字画の省略や続けて書く

ことのない、一画一画を明確に書くのが特徴である（③）体は、手書き文字の見本をはじめ、古典的な文章の使用にも適している。

欧文書体には、アルファベット、数字、記号が含まれる。もっともスタンダードであるローマン体は、文字の装飾要素である（④）を特徴に持つ。装飾要素は多様であり、その形状が書体を特徴づけるが、（④）が無いという意味であるサン□□□体は、字形がシンプルなため、可読性が高く、現代において適用例は多い。手書きの流れを残したスク립ト体は、字間を空けることなく、文字と文字とが連なるように設計されている。フォーマルな演出などに向いている。

和文・欧文書体が持つ線の太さは（⑤）と呼ばれ、標準のレギュラーをはじめ、ライト、ボールドなど、種類の違いによって、同一の書体でも印象は変化する。

展示用パネルやキャプションの作成において、伝達すべき内容や特性に応じて、最も適した書体を選ぶ工夫が必要である。

3. 美術館・博物館をはじめ、不特定多数の人々が使用する施設には、危急の事態が生じた場合に備え、屋外への避難口を示す誘導灯が設置されている。非常口サインとも呼ばれる誘導灯は、かつて「非常口」と漢字のみの表示が標準であったが、1970年代に起こった商業施設の火災事故以後、見直しが進められた。

漢字表示ではどのような問題があるのか、そして、誘導灯は、1980年代以降、どのような表示に変更されたか、簡潔に150字程度で述べなさい。（20点）

4. 展示室における資料・作品用の照明として、ハロゲンランプと比較した場合の、LEDランプの一般的な長所を任意で3つ選んで挙げ、それらについて計200字程度で説明しなさい。（30点）

5. 平面的な資料・作品を壁面に展示する際、①上部のピクチャーレールからワイヤーで吊る方法、②ファームフックを壁に取り付けてそれに掛ける方法などがあるが、①②の方法のそれぞれの長所と短所を、計300字程度で述べなさい。（30点）